

VOISTAGE マルチメディアボックス基本ソフトウェア

リリースノート

Ver8.2.3.1

NTTデータ先端技術(株) 2016/3/9

1. 変更内容一覧

Ver8.2.3.1 2016.3.9

- ・ 下記の機能強化を行いました。
 - ・ローカルデバイスコントロールログにヘルスチェックの情報を追加しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・TxVoiceLoad 実行中に DTMF を受信すると、仕様と違う戻り値”1(DTMF 受信)”が返却されることがある。

Ver8.2.3.0 2015.10.30

- ・ 下記の機能強化を行いました。
 - ・FAX 送信時、必要に応じて行うネゴシエーション要求を設定により任意で行えるようにしました。
- ・ 下記の仕様変更をしました。
 - ・Dial メソッド実行中に、接続・切断を同時に受けた場合、Dial メソッドの戻り値は-1 ですが、切断理由がビジートーン検出だった場合、-3 となるようにしました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・Windows7 32bit でアンインストールが失敗することがある。
 - ・FAX 送受信失敗が多発し、その失敗理由が「その他のエラー」となる。
 - ・発着信衝突時に、発信失敗した回線が次の着信を受けるまで発信できなくなることがある。

Ver8.2.2.0 2015.05.21

- ・ 下記の機能強化を行いました。
 - ・VoiceRecordメソッドの実施においてカテゴリパラメータ「VOICE_RECV_STIME」で無音検出時間を設定するとき、録音開始から無音の場合でも計測できるようにしました。
 - ・FAX 送信で V8 手順が失敗する場合、G3 ヘフォールダウンするようにし、接続性を向上させました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ECM ありの設定で FAX 受信する際、不正なデータ(プロトコル違反)を受け取ると、極まれに画像が乱れることがある。
 - ・VoicePlay メソッドにて 8bit ステレオで記録された Wave ファイルを再生すると、再生音が乱れる。
 - ・着信直後に回線が切断されると、回線が着信中のままとなることがある。
 - ・INS回線にて発信と同時に非制限デジタル(G4FAX、TV 電話など)による着信を受けると、発信中のままとなることがある。
 - ・EleganTalk が利用できない環境でも、StagePalette のツールメニューに「音声合成ユーティリティ」項目が表示される。
 - ・VS-2301MB に異常がないにもかかわらず ERR ランプが点灯することがある。

Ver8.2.1.1 2014.11.28

- ・ 下記の仕様変更を行いました。
 - ・VS-411MB(アナログ回線用)で、発信先電話番号に*を含む電話番号が設定された場合、*以降の番号はダイヤル送信しませんでした。*を含むそのままの電話番号でダイヤル送信するようにしました。
- ・ 下記の機能強化を行いました。
 - ・新音声合成エンジン「VoiceText」、音声合成インターフェース「SAPI5」に対応しました。
VoiceText、SAPI5 に対応したことにより、下記の TTS 関連の API を使用できるようにしました。
[S100API]
NDtts_Init, NDtts_End, NDtts_FileSpeech, NDtts_FiletoWav, NDtts_TextSpeech, NDtts_TexttoWav
[ActiveX のメソッド]
TtsInit, TtsEnd, FileSpeech, FileToWav, TextSpeech, TextToWav
[VOISTAGE スクリプトのコマンド]
TTSINIT, TTSEND, FILESPEECH, FILETOWAV, TEXTSPEECH, TEXTTOWAV
 - ・VoiceText をご利用の際は、マルチメディアボックス音声合成オプションが必要となります。
 - ・SAPI5 に準拠した音声合成エンジンはお客様にてご用意下さい。
 - ・OS は Windows Server 2012R2 以降をご利用下さい。
 - ・FAX 送信時、ファインからノーマルのように解像度が縮小された場合、1 ピクセル幅の罫線を消えにくくしました。
※**Ver8.2.1.0** で対応した画像縮小と組み合わせても罫線ができるだけ残るようにしました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・FAX 送信または受信が終了したにも関わらず、まれに FAX 終了が着信としてアプリケーションに通知され、異常終了することがある。

Ver8.2.1.0 2014.05.23

- ・ 下記の機能強化を行いました。
 - ・ FAX 送信時、画像縮小となる場合に 1 ピクセル幅の罫線を消えにくくしました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ VS-2301MB を接続している PC を再起動すると、INS 回線がリンクアップしないことがある。
 - ・ 64bit 版 OS で「プログラム一覧から[VOISTAGE 基本ソフトウェア]をアンインストールする」、または、「ADDIN03setup.exe でアンインストールを実行する」と C ドライブ直下のファイルを削除してしまう。

Ver8.2.0.0 2014.03.31

- ・ 下記の仕様変更を行いました。
 - ・ 音声合成エンジンのセット販売終了により、音声合成エンジン EleganTalk をインストールしないようにしました。
 - ・ 音声合成ユーティリティを使用するとエラーを返すようにしました。
 - ・ 次の API を使用するとエラーを返すようにしました。

[S100API]

NDtts_Init, NDtts_End, NDtts_FileSpeech, NDtts_FiletoWav, NDtts_TextSpeech, NDtts_TexttoWav

[ActiveX のメソッド]

TtsInit, TtsEnd, FileSpeech, FileToWav, TextSpeech, TextToWav

[VOISTAGE スクリプトのコマンド]

TTSINIT, TTSEND, FILESPEECH, FILETOWAV, TEXTSPEECH, TEXTTOWAV

Ver8.1.6.0 2013.12.20

- ・ 下記の仕様変更を行いました。
 - ・ FAX 受信時、画データなしのデータを受信した場合、FAX 受信失敗とするようにした。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ PC 高負荷時、まれにコアサービスが停止してしまうことがある。
 - ・ 0~255 の値が設定できる下記のパラメータに 128 以上の値を設定して、LinkPlayer メソッドを実行すると失敗する。

回線特性データファイルのダイヤル送出関連の設定項目

[DLSI]

DP ミニマムポーズ

PB ミニマムポーズ

PB 送出時間

[NCUD]

フラッシュ時間

- ・ 0~120 の値が設定できる下記のパラメータに 128 以上の値を指定すると、設定値を無視して 100msec で動作してしまう。

カテゴリファイルの設定項目

発呼時着信時間: CALL_CARRIER_TIMEOUT (初期値: 50 秒)

※このパラメータは、アナログ回線で、みなし接続の設定を行う場合に有効

- ・ ADDIN のパラメータ設定ファイル VSADDP.MINI に着応答ガードタイマの設定を追加している場合、128 以上の値を指定すると初期値の 800msec で動作してしまう。

[ADDIN03]

RSPGUARD_UPPER=XXX

着応答ガードタイマ: RSPGUARD_UPPER (初期値: 800msec)

※デフォルトでは VSADDP.MINI に設定されていません。追加で設定していない場合は影響ありません。

Ver8.1.5.1 2013.08.30

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ 発信電話番号が通知されているにもかかわらず、GetSetUpInfo メソッドでの CallID が「O(オー): 非通知の理由が不明」となってしまふことがある。

Ver8.1.5.0 2013.07.19

- ・ 下記の機能強化を行いました。
 - ・ FAX 送受信時に ECM の有り無しの情報を取得できるようにした。
 - ・ TIF ファイルを FAX 送信する際、従来のミリ固定、インチ固定の他に TIF ファイルのタグに従い ミリ/インチが設定されるモードを用意した。
 - ・ 64 ビット OS ではインストール先として “C:¥Program Files” を指定できないようにした。
(なお、“C:¥Program Files (x86)” は選択可能。すでに“C:¥Program Files”にインストールされている場合はアップデートを含め継続利用可能)
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ 負荷等による処理スピード低下時に Dial メソッドを実行すると回線閉塞することがある。
 - ・ PC 高負荷時に FAX 送信すると失敗し続けることがある。
 - ・ 64 ビット OS でインストール先を “C:¥Program Files” にしていると ADDIN03setup.exe でデバイスドライバのアンインストールに失敗する。(ADDIN03 は、msi のしくみにより“C:¥Program Files (x86)” にインストールされるようになっているため)

Ver8.1.4.0 2013.04.22

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ DTMF 受信時、回線切断するとアクセス例外が発生し、アプリケーションが異常終了することがある。
 - ・ みなし接続を設定している場合、発信と切断を繰り返しているとタイミングにより内部状態に不一致が発生し、以降の発信に失敗するようになることがある。

Ver8.1.3.2 2013.4.19

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ PC 高負荷時に着信後すぐ切断されると、まれに着信中のままになる。(Ver8.1.2.1 「着信中に OnHook メソッドを実行すると、まれに着信がキャンセルされ、その後、通話中の呼が切断されることがある。」の修正によるデグレード)
 - ・ FAX 機ではない相手先に FAX 送信を試み、失敗のため自ら切断すると次回からダイヤルに失敗するようになる。

これは、Ver8.1.3.1 の次の2つの不具合の修正によるデグレードであることが判明しました。

(1) 負荷等による処理スピード低下時に Dial メソッドを実行すると回線閉塞することがある。

(2) PC 高負荷時に FAX 送信すると失敗し続けることがある。

このため2つの不具合の修正を元に戻しました。

なお、この2つの不具合は今後のリリースで対処いたします。

Ver8.1.3.1 2013.03.08

- ・ 音声認識サーバのデフォルトのポート番号を変更しました。
- ・ Dial メソッド(非同期)を実行した際、DialFinish の前に DisconnectDetect を受信した時の戻り値を-1に変更しました。
- ・ FAX 受信時のログ出力に面数制御機能を追加しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ 音声認識サーバが正常動作しない。

- ・ 負荷等による処理スピード低下時に Dial メソッドを実行すると回線閉塞することがある。
- ・ マルチメディアボックスの電源断、または USB 抜けが発生したときに ControlNotice イベントが発生し、その時の WAITRING 命令の戻り値は-1 となるが、その後に再度 WAITRING 命令を実行した場合に戻り値が 0 になる。
- ・ 不正な TIFF ファイルで TifToFax メソッドを実行すると処理が終了しないことがある。
- ・ PC 高負荷時に FAX 送信すると失敗し続けることがある。
- ・ 音声再生処理等を実行すると、まれに上位アプリケーションが異常終了してしまうことがある。
- ・ Fax オブジェクトの生成（例 Set FaxObj = VsTelComSE1.Fax ）が完了した後、LinkPlayer メソッドが失敗した場合、アプリケーション停止処理で例外が発生することがある。
- ・ StageWriter とメッセージ登録ツールで使用する文言の統一がされていない。

Ver8.1.3.0 2012.11.02

- ・ FAX 受信時に切断された後、オンフック待ちタイムアウトが発生する事象についてのログ出力を強化しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ FAX 受信が中断した場合、異常処理ルーチンの不足により最後のページの Image Length が 0 の FAX ファイルが作成されることがある。この FAX ファイルに対して FaxToTif メソッド（あるいは FAXToTIF 命令）を実行すると不正な TIF ファイルが作成される。
 - ・ Windows Server 2008 以降で FAX 登録ツールの「名前を付けて保存」を行うと失敗する。
 - ・ StagePalette でプログラム設定するプログラムのパス名が最大 80 文字、ファイル名が最大 12 文字までしか指定できない。
 - ・ カテゴリパラメータの「LINE_FLASH」が StagePalette の設定画面から変更できない。
 - ・ 高負荷状態で運用中にコアサービスが例外コード 0xc0000005 で停止することがある。

Ver8.1.2.1 2012.08.03

- ・ StagePlayer でタイマー起動指定ありのプログラム起動時、初回起動日時をチェックする機能を追加しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ 半角スペースのあるディレクトリに基本ソフトウェアをインストールすると、StagePlayer モニターの起動に失敗する。
 - ・ WAITRING 命令を実行中に、マルチメディアボックスの電源を切断すると、WAITRING の戻り値が正常 (0) となることがある。
 - ・ StagePalette で設定した音声認識のログ出力先が有効にならない。
 - ・ 着信中に OnHook メソッドを実行すると、稀に着信がキャンセルされ、その後、通話中の呼が切断されることがある。
 - ・ 音声認識時の音声データを WAV ファイルに保存する機能が正常に動作しない。
 - ・ StagePalette で追加のプログラム登録をおこなうとタイマー設定の初回起動時間が古い値にもどってしまう。

Ver8.1.2.0 2012.05.25

- ・ Trace のログ容量の最大値を 10MB から 100MB に変更しました。
- ・ CoreService 起動時に Trace ディレクトリをリネームし空の Trace ディレクトリを作成する機能を追加しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ FAX 送信時に通信環境が悪化した状態で回線が切断されると、以降の FAX 送受信ができなくなることもある。
 - ・ TifToFax メソッドが稀に失敗することがある。(戻り値 -1)

Ver8.1.1.0 2012.04.20

- ・ FAX-ID(TSI/CSI)に含まれる先頭の空白及び+(プラス)の取り扱い方法を選択できる機能を追加しました。
- ・ 音声認識での音声データのログ保存とは別に、音声認識エンジンに送り込んでいる音声データを WAV ファイルに保存する機能を追加しました。この機能により音声認識エンジンが音声検出に失敗し、認識認識での音声データのログが存在しない場合でも入力された音声の WAV ファイルが作成できます。
- ・ TIF ファイルの FAX 送信時、ネゴシエーションではインチ指定に固定されていましたが、ミリ/インチ指定を選択できるようにしました。また、そのデフォルト値をミリ指定にしました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ 特定 TIFF ファイルを使用すると FAX 送信できない。
 - ・ 複数プロセスで同時に TifToFax メソッドを実行するとごく稀に別のプロセスの画像が混入してしまうことがある。
 - ・ Dial メソッド非同期実行時に DialFinish イベントが通知されないことがある。
 - ・ FAX 受信で圧縮データサイズが 128KB を超えるとページが作成されないことがある。(Ver8.1.0.0 の「FAX 受信で通信が途切れた場合、不正な TIF ファイルを作成することがある。」の対処によるデグレード)

Ver8.1.0.0 2012.02.27

- ・ 使用不能なチャンネルが発生した場合に、その該当チャンネルを使用しないように機能強化しました。
- ・ VoicePlay メソッドでミューLaw の WAV ファイルも再生できるようにしました。
- ・ StagePalette のカテゴリパラメータ編集画面で、設定が有効にならない項目を編集不可にしました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ TransferStart メソッド後の VoicePlay メソッドで無音状態になることがある。
 - ・ 音声の VSX ファイル作成時に、サイズが 2GB を超えると不正な VSX ファイルになってしまう。
 - ・ VSP_CTRL コマンドで start を2回送信すると VSSUPER.EXE が異常終了する。
 - ・ FAX 受信で通信が途切れた場合、不正な TIF ファイルを作成することがある。
 - ・ Windows Server 2008 (R2)及び Windows 7 (64bit)でデバイスドライバのインストールに失敗することがある。

Ver8.0.9.2 2011.11.30

- ・ アプリケーションプログラム(AP)とコアサービスのリンクが切れたときに ControlNotice(3)を通知するように機能強化しました。

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ Terminate メソッド中に AP を強制終了すると以降の LinkPlayer メソッドが失敗(-1)し続けることがある。
 - ・ コアサービスが AP に対して接続待ち(LISTEN)状態にならないことがある。

Ver8.0.9.1 2011.10.21

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ Windows Server 2008 (R2) で「リモートデスクトップサービス」の役割追加をおこなうと、設定ファイル VOISTAGE.INI のアクセスに失敗し、コアサービス設定ツール等のいくつかのツールプログラムで動作不良をおこす。
 - ・ 同様に Windows Server 2003 (R2) で「ターミナル サーバー」の役割追加をおこなうと、設定ファイル VOISTAGE.INI のアクセスに失敗し、コアサービス設定ツール等のいくつかのツールプログラムで動作不良をおこす。
 - ・ コアサービスが発着信1回で数バイトメモリリークをおこすことがある。
 - ・ S100 の DLL を直接コールする VC のプログラムが落ちることがある。
 - ・ Terminate()と LinkPlayer()を繰り返し実施すると、LinkPlayer()が失敗(-1)し続けることがある。
 - ・ FAX 送信時、VOISTAGE ActiveX の GetFaxTc メソッドを実行後に設定される TsiCsiCode プロパティの値が相手側から送られた CSI の値になっていない。(Ver8.0.8.0 の FAX-ID 取得に関する修正でのデグレード)

Ver8.0.9.0 2011.07.22

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ ChConnect メソッド実行後、コアサービスが停止することがある。
 - ・ VS-2301MB/VS-412MB にて、空きチャンネルがあるにもかかわらず、チャンネルビジーになることがある。
 - ・ サイズの大きいファイルを FAX 送信すると失敗してしまうことがある。
 - ・ MakeCall メソッドや CTscr_MakeCall 関数の終了前に MakeCallFinish のイベントが発生してしまうことがある。
 - ・ TextSpeech メソッドや NDtts_TextSpeech 関数でタッチトーンフラグを 0 に設定しても PB 入力されると音声再生が停止してしまう。(音声があまったく再生されない。)
 - ・ VS-2301MB/VS-412MB にて、INS ケーブルの抜き差しを行うとリンク復旧しないことがある。
- ・ 下記の仕様変更を行いました。
 - ・ カテゴリファイルを使用しない場合の下記のパラメータ初期値を変更しました。これはカテゴリファイルの初期値と合わせるためです。

CALL_CARRIER_ON	1(有り) → 0(無し)
TONE_SEND_CODE	16(任意の DTMF 信号)→14(#)

Ver8.0.8.0 2011.05.20

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ FAX-ID(TSI/CSI)が取得できないことがある。

- ・ 高負荷状態で、コアサービスが停止することがある。
- ・ パス名に日本語が含まれていると "Microsoft Visual C++ 2005 SP1 再頒布可能パッケージ" のインストールに失敗する。(ログオンのユーザ名が日本語の場合、あるいはマルチメディアボックス基本ソフトウェアのインストールセットを日本語のディレクトリに配置した場合に失敗していました。)
- ・ VS-2301MB/VIS-412MB にて、回線切断直後の着信が切断されることがある。
- ・ VS-2301MB/VIS-412MB にて、転送キャンセル後の音声再生が無音になることがある。
- ・ LinkPlayer メソッド実行直後の通信中でない状態の時に PartyPrepare メソッドを実行すると戻り値が -1(失敗)となるが、その戻り値を AP へ返すのに数分かかることがある。
- ・ カテゴリパラメータ「AUTO_ONHOOK=2」設定時、PartyPrepare がタイムアウトすると回線が切断されてしまう。
- ・ コアサービス設定ツールの「ツール」メニューの「回線稼働状態」の項目を削除しました。
- ・ StagePlayer(VSSUPER.EXE) VSENGINE.EXE VSPRCOMP.EXE VSMDBDLL.DLL で使用する DAO350.DLL を DAO360.DLL に変更しました。(DAO360.DLL は、Windows XP 以降のすべての OS に最初から組み込まれています。)
- ・ S.100 API として提供している関数の内部処理でのタイムアウト値が共通の 24 時間となっていました、そのタイムアウト値を S.100 API の関数ごとに個別に設定できるようにしました。なお、VOISTAGE スクリプトと VOISTAGE ActiveX についても内部で S.100 API 関数を使用していますので、タイムアウト値の設定の効果が反映されます。
- ・ StagePalette の回線特性データファイル編集画面で設定が有効にならない項目を編集不可にしました。

Ver8.0.7.0 2011.02.18

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ Terminate メソッド実行後に LinkPlayer メソッドを実行しても、発着信ができないことがある。
 - ・ VS-2301MB/VIS-412MB にて、転送先を呼び出し中に発信者が切断すると、以降の着信ができないことがある。
 - ・ 発着信衝突後の次の発信でコアサービスが停止することがある。
 - ・ 発着信衝突が発生した場合、特定の AP へ着信通知が上がりなくなることがある。
 - ・ 音声再生が始まる前に VoicePlay メソッドが戻り値-1 で終了してしまうことがある。
- ・ 下記の機能を追加しました。
 - ・ VOISTAGE スクリプトに FAXSENDPAGE コマンドを追加しました。
 - ・ S.100(VSMS100.dll) の NDutl_FAXCheck 関数を FAX ファイルだけではなく TIF ファイルでも正しいページ数を取得できるように機能拡張しました。これにともない ActiveX の GetFaxPage メソッド実行後の FaxPageCnt プロパティ、および VOISTAGE スクリプトの FAXCHECK コマンドでも TIF ファイルのページ数が正確に取得できるようになりました。
 - ・ デバイスとコアサービスの状態不一致により発着信不能が発生した場合、自動的に回線リセットをする機能を追加しました。
 - ・ FAX-ID(TSI/CSI)を取得するモードとして、Ver7 互換モードを追加しました。Ver7 互換モードでは、Ver.7 と同一の FAX-ID を取得できるようになります。具体的には前方の空白を削除して左詰めにし、20 バイトに満たない部分は、半角スペースコードで埋められます。

Ver8.0.6.0 2010.12.15

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ VS-411MB/VS-412MB/VS-2301FC にて、SuperG3 での FAX 受信が途中で終了した場合、以降の FAX 受信がすべて失敗することがある。
 - ・ FAX 送受信後、アプリケーションが停止することがある。
 - ・ 発着信衝突が発生した場合、特定の AP へ着信通知が上がらなくなることがある。
 - ・ INS 回線でダイヤルイン番号を読み取るために GetSetupInfo メソッドを実行してもタイミングの問題でダイヤルイン番号が DialIn プロパティに設定されないことがある。

Ver8.0.5.3 2010.11.15

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ FAX 受信時にわずかにメモリリークすることがある。
- ・ VS-2301MB/VS-412MB について、下記の不具合を修正しました。
 - ・ OnHook メソッドが成功しているにもかかわらず、該当の AP に対して、次の着信通知が上がらないことがある。
 - ・ AP へ間違った DisconnectDetect を通知してしまうことがある。
 - ・ AnswerCall メソッドの戻り値が失敗(-1)の時、特定の AP へ着信通知が上がらないことがある。
 - ・ 回線が切断しているにもかかわらず、VoicePlay メソッドが数分間終了しないことがある。
 - ・ 発着信衝突が発生した場合、特定の AP へ着信通知が上がらなくなることがある。

Ver8.0.5.2 2010.10.27

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ 発着信衝突が発生した場合、コアサービスが停止することがある。
 - ・ 三者通話中に OnHook メソッド、Terminate メソッドを続けて実行した場合、コアサービスが停止する。

Ver8.0.5.1 2010.10.20

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ VS-2301MB/VS-412MB にて、OnHook メソッドを実行中の AP が次の着信を受けた場合、該当の AP へ着信通知が上がらなくなることがある。
 - ・ OnHook メソッドが成功しているにもかかわらず、メソッドの戻り値が-1(失敗)となることがある。

Ver8.0.5.0 2010.10.07

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ VS-412MB を接続して Ver8 をインストールすると、VS-412MB のファームウェア更新に失敗することがある。
 - ・ VS-2301MB にて、VoicePlay メソッドの戻り値が正常を示しているにもかかわらず、実際には音が再生されないことがある。
 - ・ VS-2301MB にて、切断処理中に次の着信を受けた場合、それ以降、特定の AP に着信通知が上がらないことがある。

- ・ 高負荷時に特定回線に着信しなくなり、Terminate メソッドを実行しても、復旧しないことがある。
- ・ 運用中に VS-411MB の USB を抜くとコアサービスが停止する。
- ・ インストール時に Windows の CD-ROM を要求されることがある。
- ・ TIFF ファイルから FAX ファイルへの変換時、TIFF タグの値と画像データの内容が異なる場合に以前処理した TIFF ファイルの画像内容が他の FAX ファイルの一部含まれてしまうことがある。

- ・ ActiveX に OffHook メソッドを追加しました。
本メソッドにより、特定のアナログ回線を使用中(BUSY)にすることができ、着信拒否及び代表組みの場合スライドさせることができます。使用にあたり、制限事項がありますので、詳しくは VOISTAGE オンラインヘルプを参照してください。
- ・ 音声合成の読み飛ばし文字を設定するコマンド TTS_IGNR.EXE を追加しました。
- ・ TIFF ファイルのタグ SubfileType の値を設定ファイル VOISTAGE.INI で 255 から 254 に変えられるようにしました。

Ver8.0.4.2 2010.08.02

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ 転送先へダイヤル中に発信者が切断した場合、次の着信ができなくなることがある。
 - ・ FAX が終了し、回線が切断しているにもかかわらず、FaxSendメソッドが約 30 分終了しないことがある。
- ・ 下記の仕様変更を行いました。
 - ・ カテゴリファイルを新規作成した場合のパラメータ「CALL_DIAL_FLG」の初期値を 0:PB から 1:DP に変更しました。これは、カテゴリファイルが設定されてないときの初期値と合わせるためです。
 - ・ StageWriter を Windows Server 2008 と Windows Vista で動作させるために「互換モード」(Windows XP Service Pack 2)を設定していましたが、「互換モード」の設定なしで動作するようになりました。
 - ・ VSX ファイルを一括作成するツールプログラム VSX_MAKE.EXE を追加しました。

Ver8.0.4.1 2010.06.22

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ マルチメディアボックス VS-412MB および VS-2301MB にて、切断処理中に次の着信を受けた場合、特定の AP に着信通知が上がらないことがある。
 - ・ 『コアサービス設定ツール』のヘルスチェック情報を実行した場合、コアサービスが停止することがある。

Ver8.0.4.0 2010.06.02

- ・ 下記の仕様変更を行いました。
 - ・ SCR ログ出力時の負荷を考慮して、初期値を OFF(出力しない)に変更しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ シリアル番号が『A0』から始まり、下三桁が連続する番号のマルチメディアボックスを、同一PCに接続した場合、インストールに失敗する。(例えば、シリアル番号が A01A020 と A01A021 の二台のマルチメディアボックスを接続した場合)

Ver8.0.3.2 2010.05.25

- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ インストール先フォルダを C:\ 以外に変更してインストールすると StageWriter と StagePlayer のモニターが動作しないことがある。
 - ・ 音声再生終了間際に、DTMF 信号を受信すると、まれに VoicePlay メソッドが終了しないことがある。
 - ・ 切断処理中に次の着信を受けた時、それ以降、特定の AP に着信通知が上がらないことがある。

Ver8.0.3.1 2010.03.18

- ・ ISDN 回線の接続方式にラウンドロビンのモードを追加しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ マルチメディアボックス VS-412MB/VS-2301MB にて、転送実施後、転送を実施した隣のチャンネルに着信があった場合、稀にコアサービスが停止することがある。例えば、B1 チャンネルで転送実施後、B2 チャンネルに着信があった場合、稀にコアサービスが停止することがある。
 - ・ INS ネット 64 の付加サービス「i-ナンバー」を使用する設定で「追加番号2」の設定がこわれてしまい、着信動作に反映されないことがある。

Ver8.0.3.0 2010.03.01

- ・ 下記の機能を追加しました。
 - ・ VoicePlay メソッド実行中に音声と音声の間に 5 秒以上の遅延が発生した場合、回線をリセットする。
 - ・ 着ガードタイマー値が不正な値になった場合、着ガードタイマー値を 1.5 秒に戻す。
 - ・ 有音検出機能で使用するトーン検出機能の周波数を 400Hz 以外にも対応しました。
 - ・ バッチファイルで VOISTAGE スクリプトの起動と停止ができるようにするため、StagePlayer コントロールプログラム VSP_CTRL.EXE を追加しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ マルチメディアボックス VS-2301MB にて、網の無応答状態が原因で切断した ISDN Layer2 を再リンクした後、網と呼制御の状態不整合により、まれに通信できなくなることがある。
 - ・ 回線種別がダイヤルパルスの場合、転送先端末での応答にて、有音検出が機能しないことがある。
 - ・ 相手端末とマルチメディアボックスが同時切断した場合に、切断処理が終了するまでまれに約 3 分程度かかることがある。
 - ・ インストール直後、環境変数の PATH に %PATH% が含まれてしまう。

Ver8.0.2.0 2010.01.25

- ・ インストール後、①PC の再起動で「アンインストールの確認画面」が表示されてしまう、②「コアサービス設定ツール」を起動すると文字化けをおこす、③StagePalette が起動しない、などの不具合が発生することがあるため、インストーラを修正しました。

Ver8.0.2.0 2010.01.08

- ・ VS-411MB で有音検出機能を追加しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。

- ・ 複数回線を同時に起動すると、スクリプトエンジン VENGINE.EXE が起動と終了を繰り返す。
- ・ スクリプトで RINGACCEPT コマンド実行時、回線が接続できない場合に "DEBUG RingAccept" の MessageBox が表示されてしまう。(MessageBox の表示を無くし、RINGACCEPT コマンドのリターン値が -2 となるように修正)
- ・ VS-411MB アナログ転送にて、転送先へダイヤル中に発信者が切断した場合、次の着信ができなくなる。
- ・ VS-411MB アナログ転送にて、転送先と通信中に TransferCancel(メソッドが失敗する。

Ver8.0.1.0 2009.11.30

- ・ VS-411MB でトリオフンの機能を追加しました。

Ver8.0.0.0 2009.10.28

- ・ UnPBX 機能とひかり電話対応機能を削除しました。
- ・ 下記の新規対応/機能追加を致しました。
 - ・ VOISTAGE マルチメディアボックス VS-2301MB (INS ネット 1500 回線版) に対応
 - ・ Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition(32-bit x86) / Windows Vista Business(32-bit x86) に対応
 - ・ INS 回線の接続方式にストレートモードを追加
上記機能により、NTT 網から受信したチャンネルに対応したアプリケーションへ通知するか(ストレート)、若い番号のアプリケーションから順番に通知するか(順次)、選択できるようになります。デフォルトの設定では、若い番号のアプリケーションから通知します。
 - ・ FAX-ID(TSI/CSI)に含まれる先頭の空白の取り扱い方法を選択できる機能を追加
上記機能により、GetFaxTc メソッドで取得する時の TSI が、先頭の空白を削除して左詰めにした FAX-ID か、受信した FAX-ID か選択できるようになります。初期値は、先頭の空白を削除して左詰めにした TSI が取得できます。
(注. 2011.02.18 追記) 受信した FAX-ID をそのまま取得するモードが有効にならないことが判明しています。そのまま取得するモードに設定した場合でも、先頭の空白を削除して左詰めにした FAX-ID が取得されます。
 - ・ VOISTAGE スクリプトに着信拒否機能を追加
 - ・ ダイヤルイン番号の登録数を 4 個から 1000 個へ拡大

2. 注意事項

本ソフトウェアに含まれている VOISTAGE オンラインヘルプは、マルチメディアカード基本ソフトウェア Ver7 に含まれている内容と同一です。

最新の VOISTAGE オンラインヘルプにつきましては、下記の URL にアクセスしてください。

<http://www.voistage.com/help/>